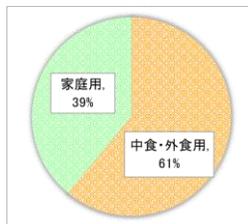
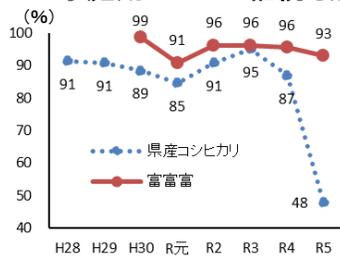


## 1 現状と課題

- 猛暑となった令和5年産でも品質が安定  
⇒ 富富富へのシフトを進める必要
- 中食・外食用での評価により需要が増加  
⇒ 家庭用のPRの継続も必要



## 2 栽培面積の目標

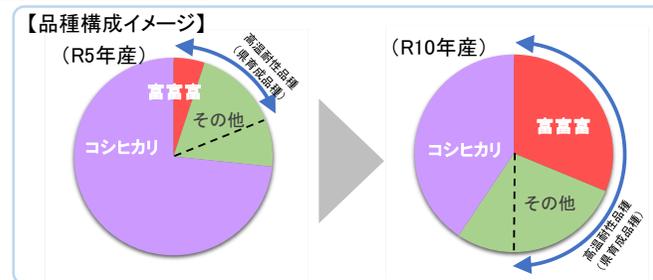
	R3	R4	R5	R6(見込)
栽培面積(ha)	1,392	1,445	1,640	2,496
生産量(t)	6,736	7,046	7,641	(12,500)

R10(目標)	
栽培面積(ha)	10,000
生産量(t)	(50,000)

### 対象期間

令和6年度から令和10年度までの5年間

※ 中間年(令和8年度)には生産や販売状況を検証したうえで、必要な対策を検討するものとする。



## 3 目標達成に向けた対策

### ○生産対策: 生産者が取り組みやすい環境づくり

#### ① 高品質・良食味・低コスト生産の推進

- ・ 地域の特性に応じた収量・食味の安定化技術の確立
- ・ 肥料2割、農薬3割減により、環境にやさしく低コストな生産
- ・ 作期分散体系や直播・密苗栽培技術等による省力・低コスト化
- ・ 生産者登録制度等の検討 など

#### ② 生産しやすい環境づくり

- ・ 地域ごとの指導体制の強化
  - 「富富富」への指導の重点化 など
- ・ JA等の乾燥調製施設の受入体制づくりの加速化
- ・ 種子の計画的な生産と供給
  - 「富富富」の生産意向の把握、優良種子の安定供給 など

#### ③ 生産者へのアピールポイント

- ✓ 高温に強く1等比率が高い
- ✓ 草丈が短く倒伏しにくい
- ✓ 肥料・農薬の削減で、低コスト化や環境負荷の低減につながる

### ○販売・PR対策: 選ばれるための流通・販売事業者や消費者へのアプローチ

#### ① バランスのとれた需要・消費拡大の推進

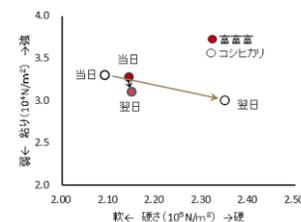
- ・ 中食・外食用の需要を維持しつつ、家庭用を拡大(家庭用6割、中食・外食用4割をめざす)

#### ○家庭用の拡大 … 食べてもらう、知ってもらう機会の創出

- 学校給食での活用による若い世代への浸透
- 効果的な情報発信ツールによる発信(SNS、マガジン等)
- 多様な食べ方の紹介(料理レシピコンクール、レシピ動画等)
- 小売店舗等での試食・PR販売 など

#### ○中食・外食用の拡大 … 中食・外食事業者の継続活用支援

- 富富富活用商品やメニューのPR、フェア開催支援 など



#### ② 流通・販売事業者・消費者へのアピールポイント

- ・ キャッチコピーの見直し 現行「うまみ。あまみ。ふと香る。ほほえむうまさ、富山から。」
- ✓ 猛暑などの環境下においても安定した品質
- ✓ 「弁当やおにぎりに合う」「あっさりして様々なおかずに合う」等の用途の広さ
- ✓ 環境に配慮した米づくり など

#### ③ ニーズを踏まえた海外市場での販路拡大

- ・ 輸出用米にラインナップ (加工用米や米粉用米の需要を見極め)